

令和7年度 計画変更

土 地 改 良 事 業 計 画 書

農 村 地 域 防 災 減 災 事 業

地 区 名：大城地区

所 在 地：神奈川県平塚市及び伊勢原市

事業主体：神奈川県

目

第1章 目 的	1
第2章 地域及び地積	2
第1節 地 域	2
第2節 地 積	2
第3章 現 況	3
第1節 気象及び海象	3
1. 一般気象	3
2. 特殊気象	4
3. 一般気象（参考）	5
第2節 土地状況	6
1. 地形・土壌及び侵食の程度	6
2. 土地分類	6
3. 土地利用の状況	7
4. 土地所有の状況	7
第3節 水利状況	8
1. 用水状況	8
2. 排水状況	10
3. 被害状況	10
第4節 道路概況	10

次

第4章 一般計画	12
第1節 事業計画の要旨	12
1. 要 旨	12
2. 事業別面積	12
第2節 営農計画及び土地利用計画	13
1. 営農計画の概要	13
2. 土地利用区分	13
3. 作付方式	13
4. 生産計画	13
第3節 用水計画	13
第4節 排水計画	13
第5節 道路計画	14
第6節 農用地造成計画	14
第7節 洪水調節計画	14
第8節 干拓計画	14
第9節 農用地整備計画	14
第10節 老朽ため池改修計画	14
第5章 主要工事計画	15
第1節 用水施設	15
第2節 排水施設	15
第3節 道路及び索道	15
第4節 農用地造成	15
第5節 洪水調節施設	15

第6節	干拓施設	16
第7節	農用地整備施設	16
第8節	老朽ため池改修施設	16
第6章	附帯工事計画	17
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	17
第8章	事業費の総額及び内訳	18
第9章	効用	19
第10章	関連する事業	19
第11章	現況・計画図面	19

第1章 目 的

1) 必要性

本地区は、伊勢原台地と二級河川渋田川及び鈴川に囲まれた沖積平野であり、地区北部の一部を除き平坦な地形で優良農地が広がる県下有数の水田地帯である。営農形態は、水稻と露地野菜の複合経営が大半となっており、認定農業者等担い手による農地の利用集積が図られている地域でもある。

本地区の用水は、一級河川相模川から相模原市磯部にある磯部頭首工より取水し、相模川右岸幹線用水路から分水している大城用水を通じて地区内の水田へ供給しているが、大城用水は昭和38年に築造され築造後45年以上が経過していて施設の老朽化が進んでおり、特に水路トンネルについては、素堀りの区間が大半を占めていて、水路トンネルが崩落した場合はトンネル地上部の温室や家屋に多大な被害を与えることが懸念されている。

以上の理由から、本事業により農業用水路の機能を保全し、水路トンネルの崩落防止及び用水の安定供給を図りたい。

2) 緊急性

大城用水の水路トンネル構造は、入り口部分及び出口部分以外が素堀りであり、地震時の崩落の危険性が高くなっている。

また、開水路においては、隣接する主要地方道伊勢原藤沢線の交通量増に伴う車両の走行振動により、水路の沈下、目地の損傷が生じ、部分補修を重ねている状況であり、これらを起因とした水路損壊による周辺農地への被害及び用水の供給不全も懸念されている。

第2章 地 域 及 び 地 積

第1節 地 域

(第1表)

事 業 名	地 域
農村地域防災減災事業	神奈川県平塚市小鍋島、大島、下島及び伊勢原市上平間

第2節 地 積

(令和8年3月現在)(第2表)

事 業 名	現況地目	田	畑	樹園地	原 野	山 林	その他*	計	備 考
	市町村名	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農村地域防災減災事業	平塚市	(648) 566	(437) 299	(30) 15	(－) －	(－) －	(－) －	(1, 115) 880	
	伊勢原市	(328) 278	(283) 202	(131) 92	(－) －	(－) －	(－) －	(742) 572	
合 計		(976) 844	(720) 501	(161) 107	(－) －	(－) －	(－) －	(1, 857) 1, 452	

【註】

* . . . 道水路、宅地。
上段：() 変更前
下段：変更後

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	平塚観測所	かんがい期間	非かんがい期間	計又は平均	備 考
観測期間	昭和56年～平成22年	5月～9月	10月～4月		
平 均 気 温 (℃)		22.3 ℃	10.1 ℃	15.2 ℃	
降 水 量	平 均 (mm)	877.0 mm	712.0 mm	1,589.0 mm	
	基準年 (mm)	—	—	—	
降水日数	平 均 (日)	54.0 日	54.0 日	108.0 日	
	基準年 (日)	—	—	—	
根 雪 期 間		—	～ —	— 日間	
無 霜 期 間		—		— 日間	
最 多 風 向		SSE	最大風速 (風 向)	15m/s	最大風速発生年月日 1982. 8. 2 (小田原観測所)

2. 特殊気象

過去30年間（昭和50年～平成22年）データによる。

(第3表-2)

観測所名 平塚観測所	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
観測期間 昭和50年～平成22年	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
最大日雨量 (mm/day)	203	H3. 9. 19	1/21	170	H2. 9. 30	1/7	166	H16. 10. 9	1/6	165	H12. 9. 16	1/6	162	H3. 8. 20	1. 6	
最大連続雨量 (mm/48hr)	246	H16. 10. 8 ～9	1/18	243	H3. 9. 18～ 19	1/18	221	H12. 9. 16 ～17	1/10	217	H15. 8. 14 ～15	1/9	206	H5. 8. 15～ 16	1/7	
最大連続干天日数 (日)	36	H7. 11. 23 ～12. 28	1/37	35	S51. 1. 1～ 2. 4	1/30	33	H11. 12. 4 ～H12. 1. 5	1/21	33	S63. 12. 6 ～H1. 1. 7	1/21	27	S60. 12. 8 ～S61. 1. 3	1/7	

3. 一般気象（参考）

過去30年間（平成3年～令和2年）の気象データ（海老名観測所）は下表のとおりである。

要素	降水量 (mm)	平均気温 (℃)	日最高気温 (℃)	日最低気温 (℃)	平均風速 (m/s)	日照時間 (時間)	降雪の深さ合計 (cm)	最深積雪 (cm)
統計期間	1991～ 2020	1991～ 2020	1991～ 2020	1991～ 2020	1991～ 2020	1991～ 2020	///	///
資料年数	30	30	30	30	30	30	0	0
1月	67.3	4.7	10.6	-0.6	1.9	190.8	///	///
2月	67.0	5.7	11.4	0.3	2.1	168.2	///	///
3月	143.9	9.1	14.4	3.9	2.5	166.5	///	///
4月	152.9	14.1	19.4	8.8	2.6	175.0	///	///
5月	156.9	18.6	23.8	13.9	2.5	178.4	///	///
6月	178.2	21.9	26.3	18.3	2.2	123.2	///	///
7月	191.2	25.7	30.1	22.2	2.2	156.7	///	///
8月	159.7	26.9	31.6	23.2	2.2	189.8	///	///
9月	254.2	23.3	27.9	19.7	2.2	132.4	///	///
10月	240.9	17.9	22.6	14.0	2.2	133.2	///	///
11月	103.2	12.3	17.6	7.7	1.9	150.5	///	///
12月	67.2	7.1	13.0	1.9	1.8	179.7	///	///
年	1760.9	15.6	20.7	11.1	2.2	1946.9	///	///

第2節 土地状況

1. 地形・土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

地 目	田						畑 ・ 樹園地							受益地標高 (m)		備 考
傾斜区分	1/1000 以下	1/1000 ～1/100	1/100～ 1/20	1/20～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 以下	3° ～8°	8° ～15°				計	最 高	最 低	
									8～10	10～12	12～15	20以上				
面積 (ha)		(100.5) 100.5				(100.5) 100.5								(9.1) 9.1	(8.1) 8.1	
比率 (%)		(100) 100				(100) 100										

上段：() 変更前
下段：変更後

(第4表-1-2)

項 目 土壌統 (区) 名	土 壌 統 (区) 区 分 一 覧 表									面積 (ha)			備 考
	土 壌 断 面							堆積様式	母 材	事 業 名			
	色	腐 植	礫 層	土 性			泥炭層・ 黒泥層及び グライ層			農村地域防災減災事業			
				表土	下層土					田	畑	計	
				一層	二層	三層							
中粗粒灰色低地土灰褐色系 (安来統)	灰褐	富む	なし	壤土	壤土	砂土～細 砂壤土	あり	-	-	(100.5) 100.5	(-) -	(100.5) 100.5	
計										(100.5) 100.5	(-) -	(100.5) 100.5	

上段：() 変更前
下段：変更後

2. 土地分類 該当なしにつき省略

3. 土地利用の状況

(第4表-2)

事業名	土地利用別 市町村別	耕 地						山 林		採 草 放牧地	原 野	その他	計	備 考
		水 田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶 園	その他の 樹園地	用材林	薪炭林					
農村地域 防災減災 事業	平塚市	ha (75.3) 75.3	ha (-) -	ha (-) -	ha (-) -	ha (-) -	ha (-) -	ha (-) -	ha (-) -	ha (-) -	ha (-) -	ha (-) -	ha (75.3) 75.3	
	伊勢原市	(25.2) 25.2	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(25.2) 25.2	
合 計		(100.5) 100.5	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(100.5) 100.5	

上段：（）変更前

下段：変更後

4. 土地所有の状況

(第4表-3)

事業名	所 有 別 区 分	個人所有	市町村所有	国 所 有	県 所 有		計	備 考
農村地域 防災減災 事業	面 積 (ha)	(100.5) 100.5	(-) -	(-) -	(-) -		(100.5) 100.5	
	関係戸数 (戸)	(478) 478	(-) -	(-) -	(-) -		(478) 478	
	筆 数 (筆)	(1,500) 1,500	(-) -	(-) -	(-) -		(1,500) 1,500	
	権 利 関 係	所有権	(-) -	(-) -	(-) -			

上段：（）変更前

下段：変更後

第3節 水利状況

1. 用水状況

(1) 用水系統 別紙 用水系統図のとおり

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項 目 施設名	かん が い 面 積						計		水利権		慣行水利権		延べ取水量	備 考
		500ha以上		500ha～100ha		100ha未満									
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m3/s	箇所	m3/s	m3/s	
農村地域 防災減災事業	貯 水 池	-	-	-	-	-	-	-	-						
	井 堰	-	-	-	-	-	-	-	-						
	自 然 取 入 口	-	-	-	-	-	-	-	-						
	揚 水 機	-	-	-	-	-	-	-	-						
	そ の 他	1	1,284	-	-	-	-	1	1,284	1	5.0	1	5.0	5.0	磯部頭首工の諸元
合 計		1	1,284					1	1,284	1	5.0	1	5.0	5.0	

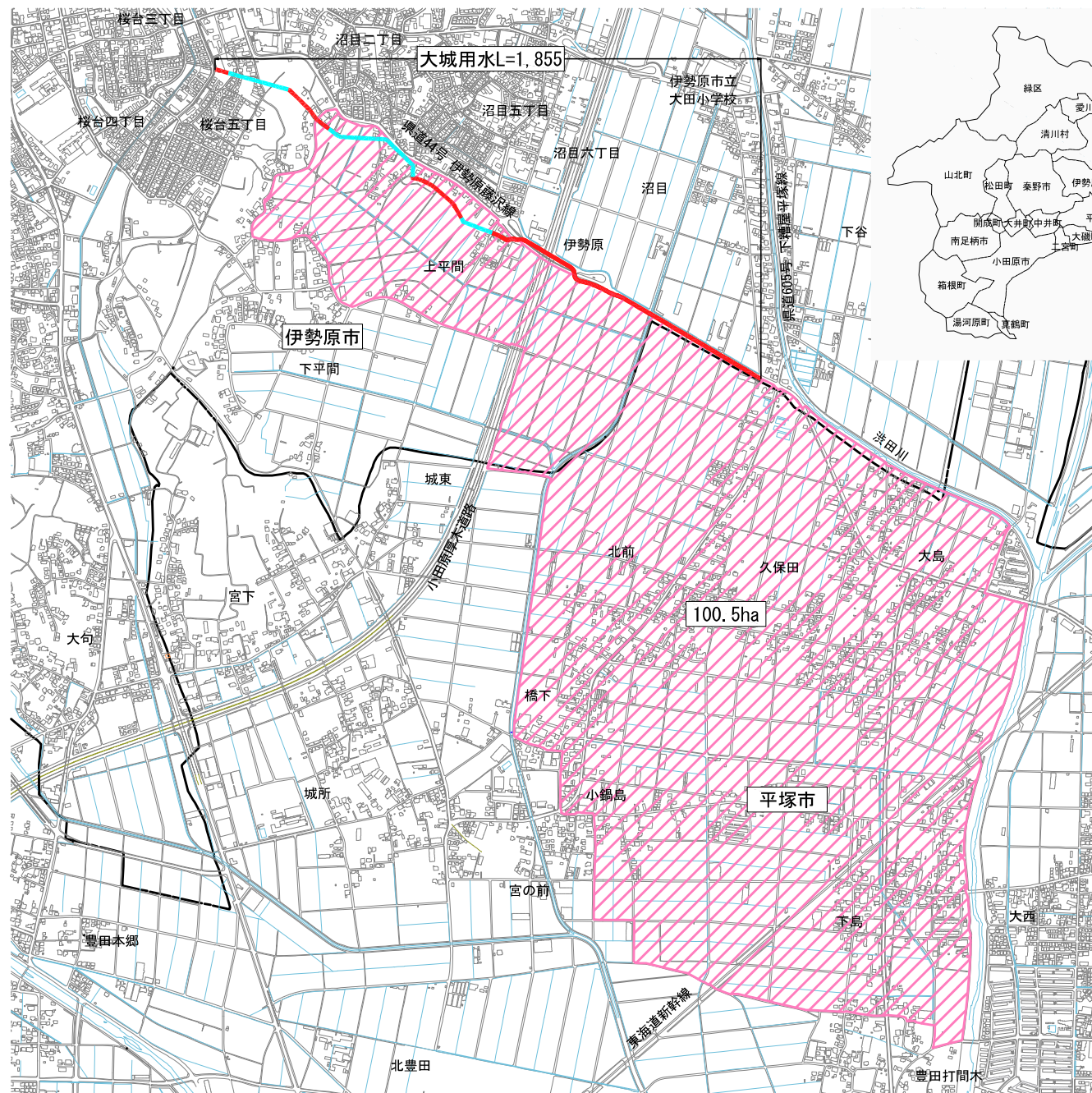
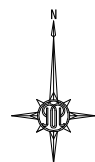
(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項 目 施設名	施設名 (又は個所数)	受益面積 (ha)	構造	規 模 (m)	新設または 更新年月日	改修を必要 とする理由	備 考
農村地域防災減災事業	用水路	大城用水	100.5	開渠(鉄筋Co) 隧道(素掘り、Co巻立) 暗渠(ヒューム管)	開渠 1,165m 隧道 387m 暗渠 290m	昭和38年	用水路の老朽化による陥没被害及び通水障害の防止	

平成24年度新規採択希望 ため池等整備事業（用排水施設整備）大城地区 用水系統図

A1: 1/6,000
A3: 1/12,000



凡 例	
	開渠
	暗渠・隧道
	受益地
	行政界

2. 排水状況 該当なし

3. 被害状況

(1) ため池等施設決壊の場合の想定被害状況

(第6表)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (千円)						備 考
	田	畑・樹園地	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋 その他	計	
農村地 事域防 災減 災	—	0.3	0.4	0.7	1,952	7,481	—	96,861	303,310	409,604	

第4節 道路概況

該当なしにつき省略

被害想定図



想定被害一覧 (2号トンネル)

被害区分	種類	細別	番号	凡例	面積 (延長)	算定方法
直接被害	農業資産被害	農地	①		283.0m2	図上求積
			②		142.1m2	
	一般資産被害	住居	③		108.6m2	
			④		101.2m2	
			⑤		135.2m2	
			⑥		193.4m2	
			⑦		171.0m2	
	公的資産被害	道路	⑧		96.7m	
			⑨		13.8m	
			⑩		32.9m	
		駐車場	⑪		632m2	

想定被害一覧 (1号トンネル)

被害区分	種類	細別	番号	凡例	面積 (延長)	算定方法
直接被害	農業資産被害	農地	①		222.0m2	図上求積
			②		726.0m2	
		樹園地	③		784.0m2	
	一般資産被害	住居	④		76.1m2	
			⑤		62.2m2	
			⑥		74.2m2	
			⑦		109.1m2	
			⑧		21.7m2	
			⑨		72.9m2	
			⑩		43.6m2	
			⑪		133.3m2	
			⑫		61.9m2	
			⑬		41.8m2	
			⑭		54.0m2	
			⑮		52.9m2	
			⑯		80.0m2	
			⑰		80.0m2	
			⑱		80.0m2	
公的資産被害	道路	生活道路 (As)	⑳		22.5m	
		市道 (As)	㉑		40.0m	
		生活道路 (砂利)	㉒		42.1m	
		生活道路 (As)	㉓		15.3m	
	送電設備	鉄塔	㉔		299.0m2	



第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨

本地区の用水は、一級河川相模川から相模原市磯部にある磯部頭首工より取水し、相模川右岸幹線水路から分水している大城用水を通じて地区内の水田へ供給しているが、大城用水は昭和38年に築造され築造後45年以上が経過していて施設の老朽化が進んでおり、得に水路トンネルについては素掘りの区間が大半を占めていて、水路トンネルが崩落した場合はトンネル地上部の温室や家屋に多大な被害を与えることが懸念されている。
以上の理由から本事業により農業用水路の機能を保全し、水路トンネルの崩落防止及び用水の安定供給を図る必要がある。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分 事業目的	農村地域防災減災事業						備 考
	水 田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)		計	
用水路整備	(100.5) 100.5	(－) －	(－) －	(－) －		(100.5) 100.5	
計	(100.5) 100.5	(－) －	(－) －	(－) －		(100.5) 100.5	

上段：() 変更前
下段：変更後

第2節 営農計画及び土地利用計画

該当なしにつき省略

第3節 用水計画

1. 計画基準年 ----- 10年確率渇水量（変更なし）
2. かんがい方式 ----- 自然流下 （変更なし）
3. 計画用水系統 ----- 現況用水系統と同じ （変更なし）
4. 用水量 ----- $Q=0.450\text{m}^3/\text{s}$ （変更なし）

第4節 排水計画

該当なしにつき省略

第5節 道路計画

該当なしにつき省略

第6節 農用地造成計画

該当なしにつき省略

第7節 洪水調節計画

該当なしにつき省略

第8節 干拓計画

該当なしにつき省略

第9節 農用地整備計画

該当なしにつき省略

第10節 老朽ため池改修計画

該当なしにつき省略

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

(第10表)

水路名	かんがい面積 (ha)			延長 (km)				構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名			開渠	隧道	暗渠	計				
	農村地域防災減災事業		計	0.728	0.368	0.759	1.855				
大城用水	100.5ha		100.5ha	0.728	0.368	0.759	1.855	U型水路、管挿入工法、BOX.C、FRPM管	1/200(平均)	開渠 隧道 暗渠	改修および補修

第2節 排水施設

該当なしにつき省略

第3節 道路及び索道

該当なしにつき省略

第4節 農用地造成

該当なしにつき省略

第5節 洪水調節施設

該当なしにつき省略

第6節 干 拓 施 設

該当なしにつき省略

第7節 農用地整備施設

該当なしにつき省略

第8節 老朽ため池改修施設

該当なしにつき省略

第 6 章 附帯工事計画

該当なしにつき省略

第 7 章 工事の着手及び完了の予定時期

着	手	平成24年度	(平成24年度)
完	了	令和11年度	(平成29年度)

※ () : 変更前

第8章 事業費の総額及び内訳

(第11表)

事業名 区分	事業量		事業費（千円）		備考
	変更前	変更後	変更前	変更後	
純工事費	1,842m	1,855m	489,510	843,203	
測量試験費			52,000	109,895	
用地買収補償費			58,490	46,402	
工事雑費			0	0	
小計			600,000	999,500	
地方事務費			0	0	
計			600,000	999,500	

第9章 効 用

(第12表)

事業名	項 目 区 分	変更前(千円)		変更後(千円)		備 考
		年増加見込効果額	年増加見込所得額	年増加見込効果額	年増加見込所得額	
農村地域防災減災事業	作物生産効果	43,922	49,265	66,795	66,795	
	維持管理費節減効果	△ 687	184	△ 763	9	
	災害防止効果（農業）	1,057	—	440	—	
	災害防止効果（一般資産）	7,746	—	14,134	—	
	災害防止効果（公共資産）	759	—	4,514	—	
		—	—		—	
	計	52,797	49,449	85,120	66,804	
	総 便 益	1,102,576		3,241,915		
	総 事 業 費	769,070		1,159,787		
	総 費 用 総 便 益 比	1.43		2.80		

第10章 関 連 す る 事 業

該当なしにつき省略

第11章 現況・計画図面

- 1. 計画一般図
- 2. 標準断面図

別添のとおり
〃

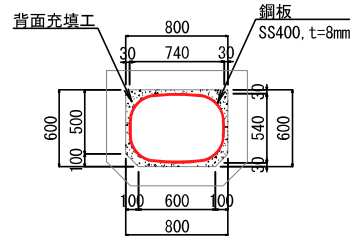
A1: 1/6,000
A3: 1/12,000



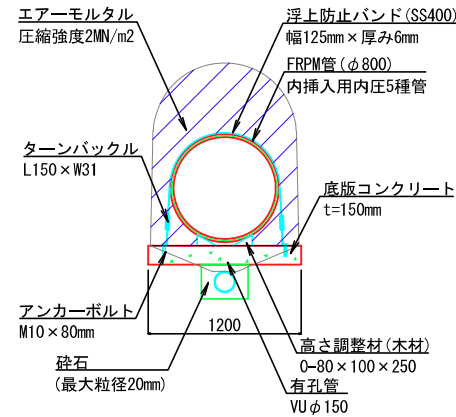
標準断面図 1/3

S=1:20

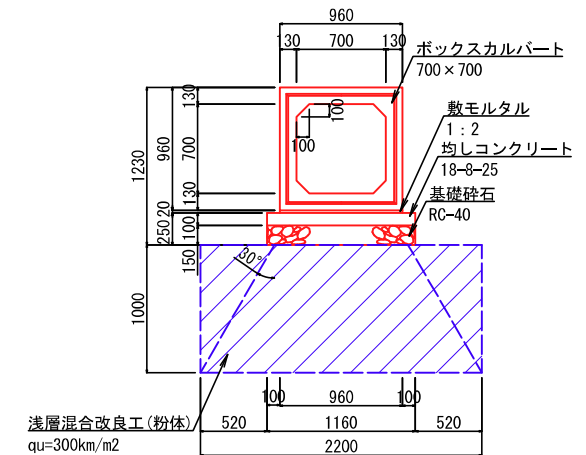
1号暗渠工



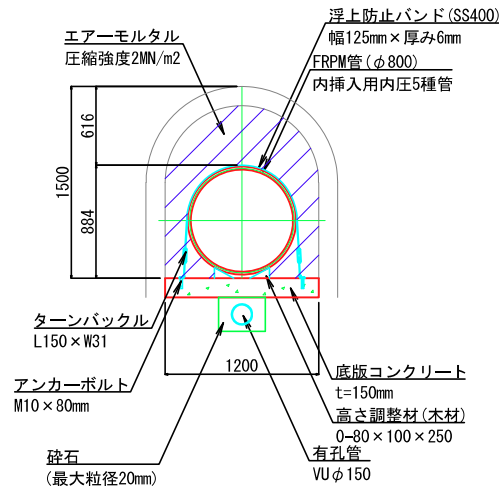
1号トンネル工 (素掘り区間)



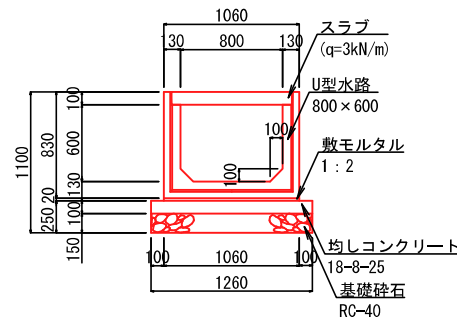
2号暗渠工



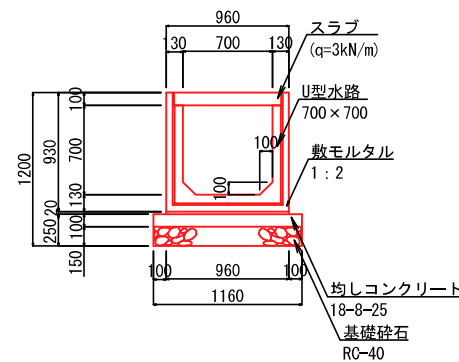
1号トンネル工 (Co巻立区間)



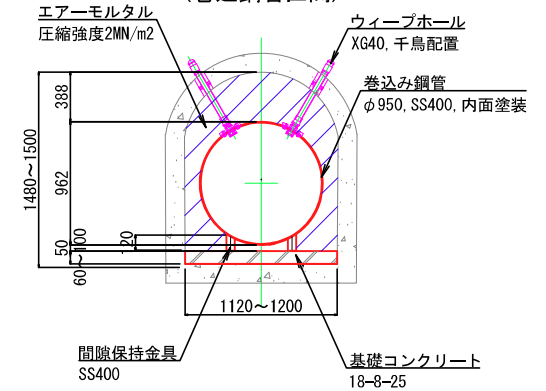
1号開渠工



2号開渠工



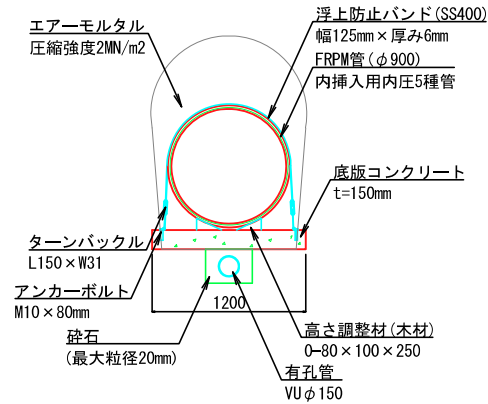
2号トンネル工 (巻込鋼管区間)



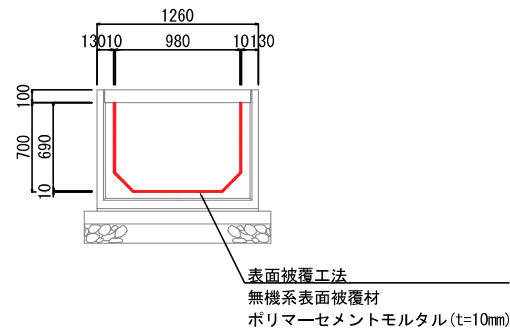
標準断面図 2/3

S=1:20

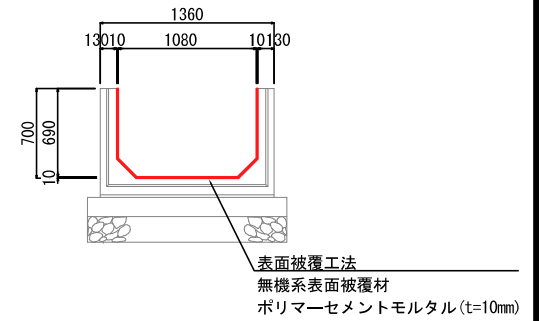
2号トンネル工 (素掘り区間)



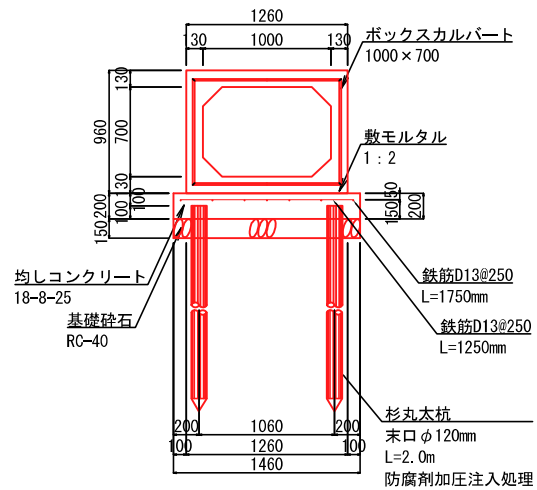
3号開渠工



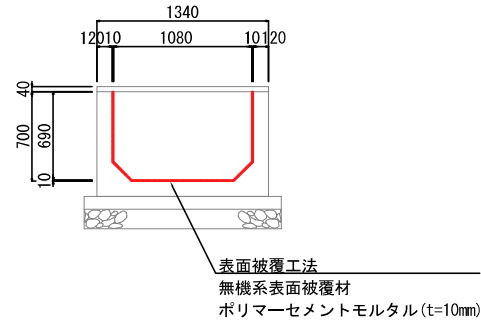
4号開渠工



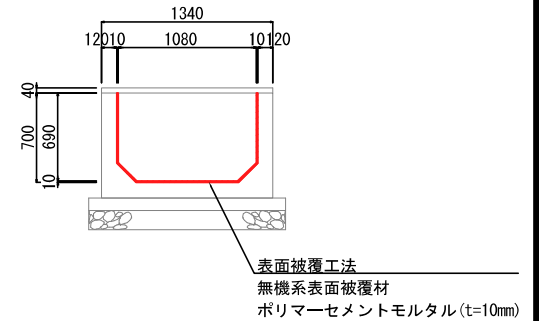
3号暗渠工



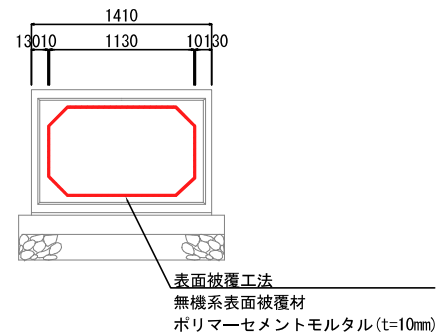
4号暗渠工



6号暗渠工



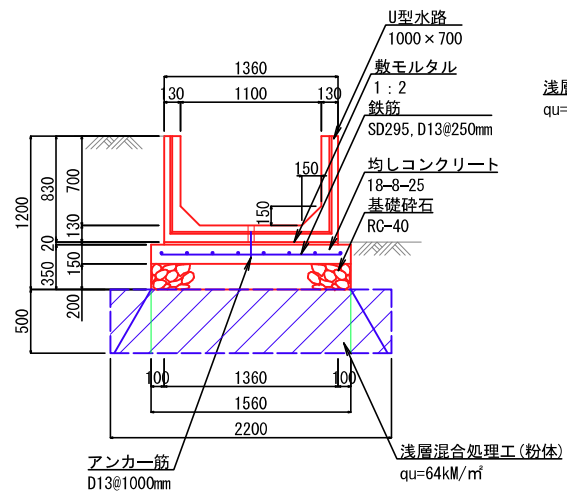
5号暗渠工



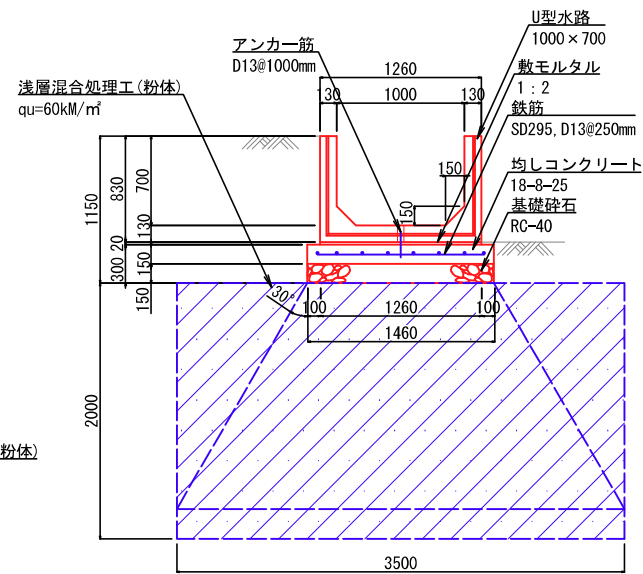
標準断面図 3/3

S=1:20

5号開渠工



6号開渠工



1号掛樋工

